

「大腸癌手術に対する COVID-19 の影響に関する後方視的解析に関する研究」

1. 研究の対象

2018年4月1日から2021年3月31日までに、当センターで大腸癌に対して切除術を受けた方

2. 研究目的・方法

「目的」 COVID-19が大腸癌手術患者の背景に及ぼす影響を検討するため

「方法」 患者基本情報（性別、生年月日等）、原発巣総合情報、原発巣病理情報、施設基本情報などを収集し、COVID-19感染拡大前後での患者背景の変化を検討する。

「研究期間」倫理審査承認日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：患者基本情報（性別、生年月日等）、原発巣総合情報、原発巣病理情報等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪大学消化器外科共同研究会

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科

研究責任者：副部長 井上 彬

電話 06-6692-1201（代表）

研究代表者：国立病院機構 大阪医療センター 外科 三代雅明